



2003. 7. 23 ~ 25

アジア欧州会合 (ASEM) 第5回外相会合

号外 7



新藤義孝



新藤外務大臣政務官は、7月23日・24日にインドネシアで開催されたASEM外相会合に出席した。

イラク特措法成立に向け国会を離れることが出来ない川口外務大臣に代わり、同会議の3日前に急遽出席要請を受けたもの。

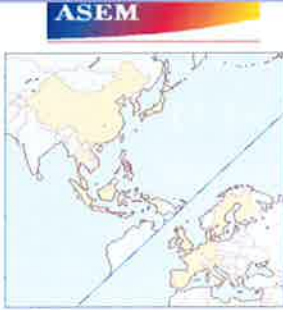
日本以外のアジア側参加国は全て外相が出席する重要な会議で、新藤政務官は調整国である日本の代表として、ミャンマー情勢・朝鮮半島情勢・大量破壊兵器及び運搬手段の拡散防止・ASEMのあり方等について積極的に発言し会議をリードした。



また、韓国のユン外交通商部長官や中国の李外交部長(外相)と朝鮮半島情勢などについて意見交換を行い、英国のオブライエン外務閣外大臣やドイツのミュラー外務担当国務大臣とは昨年11月のオランダ出張以来の再会を果たし、ミャンマー情勢や朝鮮半島情勢などについて二国間会談を行った。



ASEMとは？：アジア欧州会合(Asia-Europe Meeting)は、ASEAN7ヶ国、日・中・韓、及びEU15ヶ国と欧州委員会が参加し、アジアと欧州の政治・経済・文化といった広範な分野に渡る協力を推進する目的で設立されたフォーラムです。



アジア側：日本、韓国、中国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ブルネイ、シンガポール、タイ、ベトナム

欧州側：ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、イギリス、欧州委員会



中国・李外相



韓国・ユン外相



ベトナム・ニエン外相



ドイツ・ミュラー閣外相



英国・オブライエン閣外相

朝鮮半島情勢について

①北朝鮮の核兵器開発、ミサイル等の安全保障上の問題及び拉致問題を含む人道的問題の包括的解決、②日韓両国を含む多者協議の重要性を主張、特に拉致問題については拉致の経緯を説明してその非人道性を強調、理解と協力を求めた。その結果、議長声明にも多者協議や拉致問題を意味する表現が盛り込まれた。

「大量破壊兵器及びその運搬手段の拡散防止に関する政治宣言」

日本が提案した表記宣言が参加国全会一致で採択された。大量破壊兵器の拡散が国際社会にとって大きな脅威となっている現在、アジア諸国としては初めての画期的なものとなった。

ミャンマー情勢について

①日本がスー・チー女史の即時開放を含む事態の改善を強く働きかけていること、②ASEANの努力を評価・期待すること、③新規加盟問題は来年の首脳会合に向けて検討を継続すること等を発言、アジアと欧州の橋渡し役として、会議のとりまとめに貢献した。

日本政府代表
新藤外務政務官の提言



現地新聞記事

ASEM外相会合は、新聞・TVニュースなど各種メディアで報道された。



新藤義孝外務政務官



インドネシア・ムガワティ大統領



ASEM外相会議(バリ島・昨夜)



新藤外務政務官
3カ国協議への日韓の参加を強く要請